

## 平成30年度第2回 利用者懇談会「ひろがる図書館」 報告

開催日時 2018.8.23 (木) 17:00~19:00 中央図書館多目的室  
参加者 利用者10名

今年度3回予定されている利用者懇談会。第2回は、「ひろがる図書館」をテーマに講演と懇談会を行いました。

第一部では、まず鎌倉市中央図書館長・青木達哉より、ご挨拶と現在策定中の第3次図書館サービス計画についてご説明いたしました。



続いて、第1回にひきつづき関東学院大学社会学部図書館司書課程の准教授・千 錫烈（せんすずれつ）氏をお招きして、「ひろがる図書館～市民協働事業と図書館の役割～」をテーマにご講演いただきました。

民主主義社会（＝自分のことは自分で判断し、選択し、決定し、その結果に自分で責任をもつ社会）の基盤としての図書館の役割や、市民協働ニーズの高まりと社会的背景、図書館での協働事例など、先生ご自身の海外図書館への留学時の体験

や多彩な写真を交えながらのお話でした。

また、次に「図書館とともだち・鎌倉」による協働事業の実例紹介がありました。鎌倉市で会を発足した経緯や当時から現在までの活動実績、図書館との協働事例について、分かりやすく説明していただきました。

第二部では、参加者に「～私が図書館と一緒にしたいこと。図書館と一緒にできること～」の題で事前にワークシートを記入して来てもらい、1人ずつ内容を発表しながら、ディスカッションを行ないました。



「市内5つの図書館ごとに、地域の方、寺社の方、学校関係者、大学教授、学生などにも参加してもらい、地域の歴史・農業・漁業など生活の様相を調べて成果を発表し、それを図書館に蓄積していく」といったアイデアから、「“(仮称)図書館パートナー”を作り話題

の本、映画などについて対話する場を作る」など本を介した交流型のイベントを望む声、「夜、天体観測会行う。図書館の資料を用いての勉強会後に、流星群や季節ごとの星を観測する」といったものまで、多くのご意見をいただきました。

今回いただいたアイデアやご意見では「図書館という場」が媒介になることで、ひろがっていく地域の学びの輪やコミュニティがあると、図書館の可能性を感じることができました。図書館がそうした役割を果たせるものとなるよう、第3次サービス計画へ反映させてまいります。